



町内有機農業者の皆さん



安平町長 及川秀一郎

近年、世界規模での気候変動や環境問題を背景に環境負荷の軽減に配慮した環境保全型農業に向けた取組みを行うことが国際的なトレンドとなっていました。そのような中で発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な流行とそれに続くロシアのウクライナ侵攻は、図らずも日本が多くの農業生産資材を輸入に頼っているという現状を浮き彫りにし、かねてより問題視されていた食料自給率の低さに改めて国民的関心が集まることとなりました。

今、将来にわたり安心して農業を続けていくことができる仕組みづくりが求められています。

環境にやさしい農業を進め、生産性との調和に留意しつつも化学肥料・農薬の低減を目指していくことは、自然への影響をやわらげるだけでなく、結果として外的環境の変化に強い経営をつくることにもつながっていくのではないのでしょうか。

こうしたことから第2次安平町総合計画後期基本計画において『持続可能な農林業の振興』を重点プロジェクトに掲げる当町では、有機農業に代表される環境保全型農業に取り組む人たちの活動を支援することによって安平町で営まれている多様な農業にまた一つ新しい魅力を加え、この取組みをまちづくりに活かしていくこととし、ここにオーガニックビレッジ宣言をいたします。

令和5年4月3日

安平町長 及川秀一郎